

グリーンポケット工法 植物の選定について

グリーンポケット工法は、ある程度の環境圧に耐えられる構造になっているが、現場条件に合わない植物を植栽すると、永続した緑化ができず、みすぼらしい状態になることがある。

特にモルタル吹付面などののり面は、無土壌、急勾配、照り返しによる高温など、植物にとって極めて厳しい生育環境となる。したがって、植物の選定は環境条件に合った植物を総合的に検討する必要がある。

適した植物を選択する視点としては、以下のことが挙げられる。

気候環境のチェック(冬季の平均気温、暖かさの指数チェック)

土壌環境のチェック(土性、乾湿、pHのチェック)

環境圧のチェック(日陰地、積雪、潮風等のチェック)

失敗例 その1 (適合する植物と、適合しない植物に生育の差)

軟岩の、のり面にナツツタ、ユキヤナギ、オオムラサキツツジ、ヤマブキ、レンギョウ等を植栽(平成7年3月)



全体的にナツツタが生育不良で低木類が良好



春にはユキヤナギ、レンギョウ、ヤマブキが開花



レンギョウ



ヤマブキ



ナツツタは、生きているが葉が小さく少ない



ユキヤナギ、ヤマブキ、レンギョウは生育良好



オオムラサキツツジ

現場の条件: 勾配1:0.5、地質は軟岩、方位は北向き、湧水が有り苔も生えている、

年間降水量約1260mm、最低気温-12.5℃、冬の平均気温1.1℃(中之条測候所)、

⇒耐湿性、耐寒性、耐陰性のある植物を選択する

種類	日照条件	土壌条件	その他の耐性	この現場への適合性	結果
ナツツタ	陽地を好むが、 半日陰地でも可	やせ地と湿地にはあまり適さない	積雪、 乾寒風、寒さ、暑さ、潮風に強い	△	不良
ユキヤナギ	日陰にやや強い	乾地・ 湿地に強い	積雪、 乾寒風、寒さに強い 暑さにやや強い 病害虫に強い	◎	良好
レンギョウ	陽地を好む	乾地・ 湿地に強い	積雪、 乾寒風、寒さに強い 暑さにやや強い 病害虫に強い	◎	良好
ヤマブキ	半日陰地を好む が、陽地、日陰地でも可	適潤肥沃地を好むが、やせ地でも育つ 湿地に強い	積雪、 乾寒風、寒さに強い 暑さにやや強い 耐乾性はやや劣る	◎	良好
オオムラサキ	陽地から 半日陰地	比較的選ばない	積雪、 乾寒風、暑さにやや強い 大気汚染に強い 耐乾性はやや劣る	○	良